

ゆぎょうじ 遊行寺たより

ホームページでも
配信しています

今年も残すところ早ひと月となりました。
年末の大掃除の際には、お仏壇の整理や掃除も心がけま
しょう。

◆ 今月の行事予定

- しゃきょうえ
・写経会【3日(日)午後1時】

どなたでも気軽に写経の体験ができます。
受付は12時半からです。(御志納1,000円)
手ぶらでご参加いただけ、終了時間は自由です。
- げつれいほうわかい
・月例法話会【23日(土)午後2時】

信徒会館にて行います。ご参加は自由です。
当月講師:時宗布教伝道研究所
兵庫県神戸市 普照院 おだぎそう 小田義宗師
- じょや
・除夜法要【31日(日)午後11時45分】

大みそか恒例の「除夜の鐘つき」参加者を
募集しています。(限定108名・予約制・1000円)

大銀杏の黄葉が見ごろを迎えております

当山の大銀杏は樹齢700年といわれ、藤沢市の
天然記念物に指定されています。昭和57年8
月2日の台風により、約3分の1が折れてし
まいましたが、現在は見事に繁茂しています。
幹回りは約7メートル!



(写真はホーム
ページにご投稿
いただいたもの
です)

◆ 今月の催事予定

- ・骨董市【3、17日(日)】

毎月第1日曜日…のみ蚤の市
〈問合せ:090-4416-2168(石田様)〉
毎月第3日曜日…ボロ市
〈問合せ:090-2660-6935(中島様)〉
* 午前7時より午後4時まで(雨天中止)
- ・寺ヨガ【10日(日)】

毎月第2日曜日 於:大書院
9時~ / 11時~ / 2時~(各1時間)
〈問合せ:090-4365-5034(ナーニヤ先生)〉
- ・野菜市【6、13、20、27日(水)】

毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

◎正月屋台出店のご案内◎

例年の通り、正月期間の境内への屋台出店を
募集いたします。応募される方は、12月19日
までに寺務所へご連絡ください。

- * 出店期間は31日深夜・1日~3日
- * 12月20日15時より出店説明会を行います
- * 出店数には限りがあります(先着順)



遊行寺宝物館

えのしまえんぎ
特別展『江嶋縁起』

〔10月7日(土)~12月18日(月)〕
開館日:毎週月・土・日曜日・祝日
入館料:500円(小・中学生300円)

仏教は死後のため？

「ただ今のお念仏」

宗祖一遍上人のお言葉は和歌や語録で残されていますが、その教えはこのフレーズに集約されているのではないかと思います。

さて、「輪廻転生」や「極楽」、「往生」という仏教用語を聞くと、皆様は“仏教は死後のため”の教えであると感じられるのではないのでしょうか。決して間違っているわけではありませんが、仏教で最も重要とされるのは日常である「現在」です。

そもそも私たちは「過去」、「現在」、「未来」もしくは「前世」、「現世」、「来世」という区分で時間を常識的に捉えています。仏教ではこれを「三世」と呼びます。ただし、時間は実体的なものではなく、3つの時間軸も仮の区分であると説かれます。

そしてなぜ「現在」を重要視するかというと、「過去」は「現在」の原因であり、「未来」は「現在」の結果だからです。「過去」や「未来」に影響されているのも、結局「現在」の自分であることは明白でしょう。だからこそ「現在」を懸命に生きる意義を仏教は説いているのです。

そうはいつでも死後の憂いが絶えないのが私たち凡夫です。

一遍上人は、臨終に念仏を称えられるか不安がっている人に対して、「死に際のみが臨終なのではなくて、生きている今も臨終であるから、死に際を心配するのではなく日常の念仏を大事にしてください」と仰いました。

浄土教の極楽往生を知ることによって死後の憂いをなくし、今生きている「現在」に専念できれば最良なのではないでしょうか。

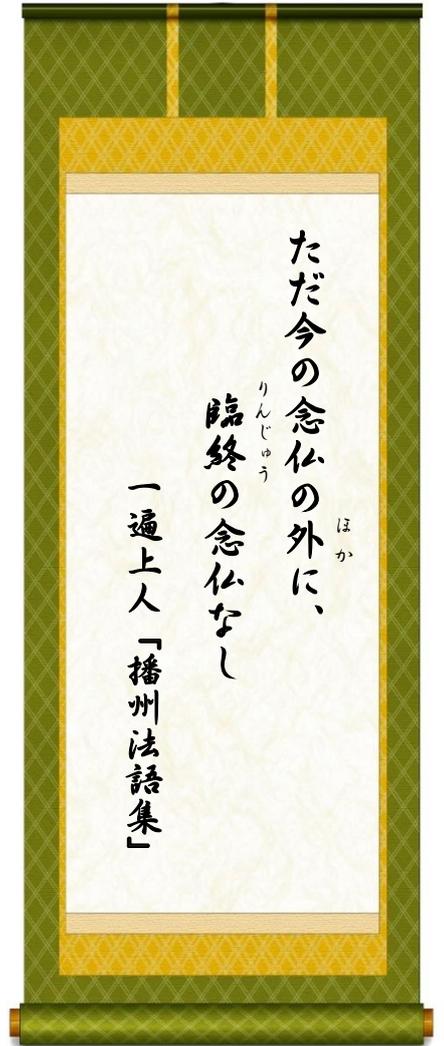
さて今年も残すところあとわずか。一年を振り返ったり、来年のことを想像したりする時期ではありますが、「過去」を引きずらず、「未来」に翻弄されず、「今、現在」を大切にしたいものです。

合掌

(山務書記:高垣浩然)

宗祖の

今月のおことば



～一遍上人のおこころ～

「今」称える念仏が日常の念仏でもあり、臨終の念仏でもある。臨終が日常なのであり、それが続く限りに人生がある。臨終に不安があるのなら、「今」念仏を称えなさい。



フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください♪

時宗総本山
遊行寺

〒251-0001 神奈川県藤沢市西富1-8-1
TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

